2 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<p>1. エルビルセントラルブラッドバンクの機能強化 安全な血液製剤の安定供給により、エルビルの患者が適切な血液製剤治療を受ける事ができるようになった。 献血者数 約 6000 人 血小板濃厚液の品質をアメリカ血液銀行協会の基準に基づき、事業前の 2% から、事業終了時には 4.6% まで、向上させることができた。</p> <p>2. フローサイトメトリーを使った小児血液疾患の診断をイブン・アル＝アシール病院の医師達が習得し、北イラクで初めて診断を受けられるようになった。事業終了時までには 24 人の小児血液疾患患者が検査を受けた。</p>
(2) 事業内容	<p>1. セントラルブラッドバンク</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 資機材の設置 b. 資機材の稼働状況のモニタリング c. 血液製剤の生産高と品質管理のモニタリング 現地医師により、血液量、血小板数、PH 値、肝炎チェックをデータ化し、数量と品質管理が適切か確認した。 <p>2. イブン・アル＝アシール病院</p> <ul style="list-style-type: none"> a. フローサイトメトリーの設置 b. 専門医 2 名、技術者 1 名の研修 クルド自治区ナナカリー病院にてヒワ医師の下で研修を受けた。イラクでは、まだ、フローサイトメトリーは 4 地域のみしか使われていない。そのため、初歩的な内容から研修を受けることができ、良い結果を生んだ。 c. 病院を受診した患者 24 名が、精密な診断を受けることができた。
(3) 達成された成果	<p>1. 「イブン・アル＝アシール病院における血液疾患診断技術向上事業」 資機材の導入はコロナ感染拡大により、都市封鎖が行われたために、発注が 9 月、搬入が 2021 年 1 月と大幅に遅れた。しかし、設置後は専門医 2 名と技術者 1 名によって、開始が大幅に遅れたために、これまでに、24 名の小児血液疾患の子ども達の診断が行われた。解析データは、日本の専門医とも共有され、現在次世代シーケンサーを使っての解析を控えている。専門医の研修がインドからクルド自治区エルビルのナナカリー病院に変更になったが、高度な操作ではなく初歩的なプログラムになった事が返って良い結果を招いた。(研修医レポート別添) 診断の小児血液疾患という高度医療支援であるが、SDG s 3.3 「2030 年までに非感染性疾患による若年性死亡率を。予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させ、精神保健及び福祉を促進する。」の一助になっている。</p> <p>2. 「エルビル市セントラルブラッドバンクの機能強化事業」</p>

	<p>献血ベッド・遠心分離機・シェイカー・インキュベーターなどの資機材を2020年8月に設置することができた。ブラッドバンクの医療従事者の4人がコロナで死亡された。また、イラク中央政府からの医療従事者への給与未払い、資材の供給が止まる等、コロナに加えて様々な困難な状況が続いたが、2021年になり、新しいスタッフによる体制が組まれた。新スタッフへのトレーニングの効果が現われ、献血者数は約200人/日に増え、当初目標にした血小板血液製剤の品質については、アメリカ血液銀行協会の管理基準を満たすまでになった。事業前は2%に過ぎなかったが、2021年2月、3月には46%にあがった。今では、50%を目標にしている。</p> <p>血液製剤の供給病院は、12の公立病院と30のプライベート病院をカバーしている。</p> <p>(データ別添)</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>1. エルビルセントラルブラッドバンク 供与した資機材については、クルド自治政府保健省エルビル県保健局によって維持、管理される。達成された事業の成果についても同様である。しかし、イラク中央政府の混乱とコロナ感染拡大、生活インフラの劣化により、先の見通しが立たない事も現実である。当団体でも、現地情報を丁寧に確認しながら、継続的な血液製剤の確保を目指し、応援していく所存である。</p> <p>2. 支援病院のあるモスルは、イスラム国の襲来によって、壊滅状態となったイラク第二の都市である。イブン・アル＝アシール病院のスタッフ達によって、改修が始まり、北イラクで初めて、フローサイトメトリーを使って小児血液疾患の診断が可能になった。患者家族からの喜びの言葉がJCF本部事務局に寄せられている。</p> <p>設置した資機材は、中央保健省の認証をすでに受けており、二ナワ県保健局により管理される。</p> <p>また、ナナリカー病院で研修を受けたハーリル医師は、フローサイトメトリーの基礎知識と使い方について、同病院内の病理学医師達にレクチャーを行っている。現地医師による診断の向上と北イラクの血液疾患患者に対する治療の道筋が付けられて行く事が期待できる。</p>